

「フリートーク」で表現力を育てる

小松原唯弘

(栃木県栃木市立大平中学校)

1. はじめに

「フリートーク」は、次の4つのねらいを達成するために、1年間かけて毎授業開始の10分程度で行う帯活動です。

- ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。
- ・「聞くこと」「話すこと」を中心としたコミュニケーション能力の基礎を養うこと。
- ・身近な人たちとよりよい人間関係を築くこと。
- ・グローバルな視野を持つことのできる資質を育むこと。

2. 「フリートーク」とは

フリートークの基本コンセプトは、「全生徒が参加でき、教師も継続的・段階的に指導できるコミュニケーション活動」です。このフリートークには、次の3種類の活動があります。

① Pair Talk

フリートークの中心的な活動です。生徒2人がお互いに向かい合って、「Pair Talkの進め方」のプリントを参考にしながら、いろいろなトピックについてアイコンタクトやジェスチャーなどを駆使し、英語で自分の考えや気持ちを伝え合います。また、相手のことについて質問したり、相手からの質問に答えたり、自分の意見や感想を述べたりしながら、4つのステージを追って進めていきます。

【Pair Talkの4つのステージ】

- 1st 1つのトピックに対して、Creative Plus Oneの1文を付け加えながらやりとりします。
- 2nd 1stの活動に加えて、会話の途中でトピックを変え、2つのトピックについてやりとりします。

3rd Follow-up Question (続きの質問) を使って質問し、Pair Talk を発展させます。

4th Impression (感想) を使って、自分の感想や意見を述べ、Pair Talk を深めます。

② Group Talk

3～5人のグループで、モデルダイアログ(Group Talkの進め方)をもとに、司会者を中心にトピックを変えながら会話しします。自分でターンを取って発話する部分がPair Talkとは異なります。

③ Speech

Pair Talk や Group Talk で活動したことがあるトピックについて、自分でスピーチ原稿を書き、それを発表します。人前で堂々と自分の考えや気持ちを正しく、わかりやすく伝える力を養います。

3. 「フリートーク」の実践

フリートークの活動の中心となるPair Talkでは、次の4種類のプリントを使います。

Pair Talkの進め方

Pair Talkの4つのステージに対応した、活動のためのモデルダイアログです。このプリントを参考に、ペアでスキットをなぞって練習したり、自分たちのことに置き換えて会話ししたりします。

Topic集

フリートークで扱う16のトピックについて、それぞれを深めるための語句・表現を収録しています。また、質問に答える際に、Creative Plus Oneで1文付け加えるためのプリントも含まれています。

フリートークに役立つ表現集

会話をスムーズに進めるための表現集です。

How are you?

活動の始めに行うあいさつのための表現集です。

Pair Talkの進め方①

Sports (スポーツ)

DIRECTION

Don't be shy. (はずかしがらないで。)

- ・ジェスチャー、スマイル、アイコンタクトを忘れずに!
- ・"Topic集"や、"Creative Plus One"を参考にして情報を追

SCENE

仲の良い二人がスポーツについて話をしています。

Skit

◆N: Hello, Yaguchi-san.
 ○Y: Hi, Nagai-kun. How are you?
 ◆N: I'm fine, thank you. How about you?
 ○Y: I'm fine too, thank you.
 Let's talk about sports.
 I like badminton.
 ◆N: (Pardon?) Oh, badminton?
 ○Y: Yeah. It's exciting.
I am on the badminton team.
 ◆N: Uh-huh.
 ○Y: How about you, Nagai-kun?
 What sport do you like?
 ◆N: Well, I like track and field because it's fun.
I run after school every day.
 ○Y: Oh, really? I see.
 ◆N: Thank you very much.
 ○Y: You're welcome.

Topic集

Sports (スポーツ)

POINT

Q: What sport do you like? あなたは何のスポーツが好きですか。
 A: I like badminton because it's interesting.
 My favorite sport is badminton but I can't play it very well.

WORDS & PHRASES

① 1. badminton バドミントン 7. softball ソフトボール 13. kendo 剣道

Creative Plus One

【全般】

- 1. I'm on the badminton team. 私はバドミントン部に所属しています。
- 2. I'm a Giants fan [supporter]. 私はジャイアンツのファン[サポーター]です。
- 3. My favorite team is Kashima Antlers. 私の好きなチームは鹿島アントラーズです。
- 4. I want to be a good player. 私は上手な選手になりたいです。

【スポーツをする・練習する】

- 5. I play badminton every day. 私は毎日バドミントンをします。
 practice judo [kendo] 柔道[剣道]をする(練習する). run five kilometers 5キロ走る.
 swim for 2 hours 2時間泳ぐ. do 50 push-ups 50回腕立て伏せをする

Pair Talkの活動では、1トピックにつき12回を目安に活動を行います。まず前半では、「Topic集」、「フリートークに役立つ表現集」、「How are you?」のプリントを、それぞれ練習します。生徒たちの理解や定着を考え、多少時間はかかっても、それぞれのプリントをクラス全体やペア、個人で、くり返し音読練習します。ここで多くの表現が言えるようになれば、ペアの相手の言うことも理解しやすくなり、その後の活動をスムーズに進めることができます。

後半では、「Pair Talkの進め方」を使ったペア活動を行います。最初のうちはどうしても、プリントを手を持って読んだり、覚えた対話のパターンを言い合ったりすることになります。しかし、最終的な目標として、プリントを持たずに、気持ちのこもった対話ができるよう、徐々に活動を高めていきます。たとえば、ALTとJTEとの対話のモデルを見せるなど、生徒たちに具体的な目標を示すことで、モチベーションを高めることにもつながります。また、ペア活動ということ言えば、パートナーが言葉に詰まったり、流れがわからなくなった場合などは、日本語でもよいので、互いに教

え合い、助け合わせることも必要です。

最後に、練習の成果をクラスの前で発表したり、ほかのペアの発表を見たりする機会を与えます。そうすることで、「イントネーションに気をつけて言うと相手に伝わりやすい」とか、「声が大きくジェスチャーも効果的」などの感想が出ることもあります。また、発表を見る際にリスニングカードにメモさせることで、ただの発表会ではなく、クラス全体が「学び合いの場」となり一体感が生まれます。

4. おわりに

毎年の授業アンケートでは、90%以上の生徒が「フリートークが楽しかった」と答えてくれています。今後も、フリートークを通して、生徒たちと英語によるコミュニケーション活動を楽しんでいきたいと思っています。

なお、Group TalkやSpeechを含む活動の詳細については、拙著『英語の授業を楽しくする10分間の帯活動「フリートーク」で表現力を育てる』（三省堂）を参照いただけたら幸いです。